

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール

No.	681	配信日	2026/4/28	ジャンル	商品知識
テーマ	ヒスイの査定ポイント				

ヒスイ（翡翠）は本部 LINE 査定でもよく見かる商材であり、高品質であれば大きな利益を生むポテンシャルを秘めています。一方で「金額が付きづらい」場合が多いのも事実です。金額がつく要因を正しく押さえ、比較トークや「今売る動機付け」に繋げるためのポイントを共有いたします。



1. ヒスイとは何か？「日本」と「ミャンマー」の産地背景

ヒスイには、宝石価値の高い「硬玉（ジェダイト）」と、価値が付きづらい「軟玉（ネフライト）」があります。

- **世界最大の産地：ミャンマー** 宝石品質の約 9 割を占めます。現在は紛争により「新しい石の発掘・輸出」がほぼ止まっており、世界的な品不足から相場が異常高騰しています。
- **日本での採掘：新潟県糸魚川（いといがわ）** 日本は世界有数の産地であり、糸魚川産は「国石」にも選ばれています。産地は天然記念物に指定されており、**現在は岩石の採掘・採取が全面的に制限**されています。

2. 「似ている石」との見分け方

- **軟玉（ネフライト）**：光沢が鈍く、ロウや油を塗ったような質感です。
- **アベンチュリン**：キラキラした細かな内包物が見え、ヒスイ特有の「とろみ」がありません。
- **染色カルセドニー**：非常に鮮やかですが、ライトを当てると色の塊が亀裂に沿って溜まっているのが見えます。



3. 査定額を左右する、見るべきポイント

以下の 3 点をチェックしてください。

- ① **光にかざした時の透過度（重要）** 裏からペンライトを当てた際、石全体がぼうっと明るく光を透かし、「とろみ」のある透明感があれば高額の可能性あります。逆に光を通さずカサカサしたものは、金額が付きづらい「岩石」に近い個体です。
- ② **色の質と均一さ** エメラルドのような深い緑で、ムラなく均一なものは最高級品「インペリアル・ジェイド（琅玕：ろうかん）」として 100 万円以上の値がつくこともあります。
- ③ **鑑別書の有無** 本部 LINE 査定では鑑別書がないと金額がつきにくい傾向にあります。

4. トーク例

「ヒスイは今、数十年で一番と言われるほど価値が高騰しているんです。というのも、世界最大の産地ミャンマーが紛争で封鎖され、新しい石の発掘がほぼ止まってしまっているからなんです。日本でも有名な糸魚川産は天然記念物として採掘が制限されており、市場には『今ある分』しか残されていません。

供給が完全にストップしている一方で、海外の富裕層による買い占めが起きているため、『高値』がついています。ただ、この状況はいつまで続くか分かりません。供給が再開されれば価格が急落するリスクもありますので、発掘が止まっていて最高値を更新している『今』が、間違いなく一番の売り時です。ぜひ、このタイミングで一度査定だけでもしてみませんか？」